

# 短期英語語学研修 (1)

—豪州のニューサウスウェールズ州とビクトリア州を中心に—

惠 玲子

## I はじめに

21世紀は環太平洋の時代、アジアの時代などと言われる。1989年1月に豪州首相ホーク氏がアジア太平洋経済協力閣僚会議を提唱し、第1回会議がオーストラリアのキャンベラで開催された。世界の国々がアジアの目覚ましい経済発展に目を向け、オーストラリアなどもアジア圏に急速な勢いで接近してきた。ここで私達は、この激動していく国際社会で、英語を勉強する事の再確認と、また、国際語としての英語とは何か、もう一度考えてみる必要があるのではないか。本稿では多様化する地域英語に対応し、かつ本学の英語語学研修プログラムの教育目的を今後の方向性を探りながら、語学研修の候補地の1つとして、オーストラリアのニューサウスウェールズ州とビクトリア州の2、3の学校を中心に考察する。

## II 21世紀に向けての文部省の方針

文部省は戦後約10年毎に、学習指導要領を改訂して、明治5年の「被仰出書」から始り戦後昭和22年の教育基本法制定、そして現在、平和時における、第3次教育改革を明治維新以来行なおうとしている。昭和59年8月から昭和62年8月の臨時教育審議会で21世紀のための教育目標と、今後の教育の在り方について3点(①個性重視の原則 ②生涯学習体系の移行 ③変化への対応)を、提示し、昭和62年12月に教育課程審議会は中央教育審議会と臨時教育審議会の提言を踏まえて答申した。この中で4点の改善、①心豊かな人間の育成 ②自己教育力の育成 ③基礎・基本の重視と個性を生かす教育の充実 ④文化と伝統の尊重と国際理解の推進 が示され、平成元年3月に学校教育法施行規則の一部改正と伴に、幼稚園教育要領と小・中・高等学

校の学習指導要領を全面的に改訂した。

新しい高等学校学習指導要領\*1が、平成6年4月より高校新入学生から適用された。これに伴って外国語教育も影響を受け、改善基本方針が示され、高等学校の英語科目における改善点の具体的事項が次のように記されている。

(ア) 生徒の能力・適性等に応じた指導を充実し、聞くこと及び話すことの言語活動の指導を一層充実する観点から、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「オーラル・コミュニケーションA」、「オーラル・コミュニケーションB」、「オーラル・コミュニケーションC」、「リーディング」及び「ライティング」の各科目で構成する。

(イ) 「英語Ⅰ」及び「英語Ⅱ」は、聞くこと、話すこと、読むこと及び書くことの言語活動の指導を総合的に行なう内容を構成する。

(ウ) 「オーラル・コミュニケーションA」、「オーラル・コミュニケーションB」および「オーラル・コミュニケーションC」は、聞くこと及び話すことの言語活動の指導を重点的に行なうよう内容を構成し、日常生活に関する会話、スピーチ、放送など聴いて理解することなどを含めるようにする。

例えば、「オーラル・コミュニケーションA」は、身近な日常生活の場面で行なわれる会話を中心に内容を構成し、「オーラル・コミュニケーションB」は、文章や話の内容を正確に聞き取ったりノートしたりする聴いて理解する活動を中心に内容を構成し、「オーラル・コミュニケーションC」は、スピーチや討論など様々な場面で行なわれる表現活動を中心に内容を構成する。

(エ) 「リーディング」は、読むことの言語活動を一層深めて行なう内容を構成し、「ライティング」は、書くことの言語活動を一層深めて行なうよう内容を構成する。

(オ) 「英語Ⅰ」は、英語を選択する生徒に低学年において履修させるようにし、「英語Ⅱ」、「リーディング」及び「ライティング」は、「英語Ⅰ」を履修した後に、それぞれ生徒の能力・適性等に応じて、選択履修できるようにする。

(カ) 言語材料については、中学校と同様の趣旨で改善する。

(キ) 題材については、中学校と同様の趣旨で改善する。

(ク) 聞くこと及び話すことの指導に当たっては、特に音声による指導を重視し、ネイティブ・スピーカーの活用や教育機器の利用などが一層進められるよう配慮する。

(ケ) 英語以外の外国語については、中学校と同様の趣旨で改善するとともに、地域の実情や学校の実態に応じてその履修が一層推進されるよう配慮する。

以上のように今後の英語教育は英語でコミュニケーション出来るように改善されたわけである。この路線に大学の英語教育も展開されていく。一般英語ではコミュニケーションを目的とし、言語の持つ文化面をなるべく排除し、道具としての英語を使いこなせるように4技術指導が必要である。

文部省は一言に「英語」とかたづけ、暗黙のうちに戦後は米国の英語を採用しているが、将来は「どの英語」と指定しなければならない事態が起こるかもしれない。国際コミュニケーションをとるための国の言語対策が必要になるかもしれない。

### III 多様化する地域英語

#### (1) 地域英語

日本では米語が優勢になっているが、世界には英語を母語とする国は、19カ国\*2 がある。

- |                       |                      |              |
|-----------------------|----------------------|--------------|
| 1. オーストラリア            | 2. バハマ               | 3. バーベイドス    |
| 4. ベリーズ               | 5. バミューダ             | 6. カナダ       |
| 7. ドミニカ               | 8. グラナダ              | 9. ギヤナ       |
| 10. アイルランド            | 11. ジャマイカ            | 12. ニュージーランド |
| 13. セントクリストファー & ナビス  |                      | 14. セントルシア   |
| 15. セントビンセント & グレナディン |                      | 16. サウスアフリカ  |
| 17. トリニダッド & トンガ      | 18. ユナイテッドキングダム (UK) |              |
| 19. アメリカ合衆国 (USA)     |                      |              |

近年衛星放送や海外旅行などで、英語を身近に体験する機会が多くなった。特に英語圏を旅行すると、自分の英語が使い物にならなくて、結局日本の学校英語教育が悪いということになり、英語教師は窮地に追いやられる。筆者も大学卒業後すぐ英国に行った時、バス停で聞いた言葉は英語とは思えないほど全然解らなく、落胆したものだ。その後、米国留学中に英国に行った時も、以前程ではなかったとしても戸惑ったことがあった。ロンドンのコックニー英語を聞いたのであった。では、米国人が英国に行っても何も問題がないのであろうか。英国で、ビジネス旅行をしていた米国人に同じ質問を試してみたところ、時々理解できないと言っていた。これと同様な事が米国に行った英国人にも起こり、不自由を感じているのである。

日本人が一言に「英語」と言っている言語は英国英語か米国英語である。特に戦後は米国英語である。ルーツは同じ英国英語から出発した英語でも2百年以上も経てば、米国英語は互にコミュニケート出来ない程ではないにし

でも違ってくるのは当然である。英国から独立して、自国の統一言語とアイデンティティーを求めるのである。

この調子で行くと、1世紀以内に英語と米語は互に通じなくなるであろうと予測している人々もいるくらいである。まさにバベルの塔のごとき事態である。

## (2) 標準英語 (Standard English)

英語の本場英国にしたところで、多様な英語が飛び交っている。地方の方言で育った人々がロンドンなどの大都市で生活をしている。ロンドンの方言が15世紀、書きことばとして、標準語となる1つの契機が、キャクストン (William Caxton) による印刷機の輸入といわれる (1475年)。それ以来、印刷はロンドン方言に従って行なわれた。英国の標準語発音は RP (Received Pronunciation, 容認英語) または BBC English/Queen's English と言われ、聞きやすいが英国内で話している人口は、わずかに3~5パーセント<sup>\*3</sup>に過ぎないといわれる。この RP の生い立ちは、1870年に W. E フォスター<sup>\*4</sup>が、英国の教育機関を充実させるため、The Education Act という教育法案を国会に提案して、法律に加えた。彼は大ブリテン島に初等教育制度の素を初めて設立した。この結果全国各地から集った同階級の子供たちが、全寮制だったパブリックスクール (私立学校) やプレパラトリースクール (大学進学準備学校) で一緒に寝起きを共に勉強した。しかし、全国から集めたエリート生徒らは、様々な英語を話したので、当時の教育者たちがある発音の基準をつくり、RPとして各スクールへ普及させた。その後この発音は BBC 放送のアナウンサーを通じて全国へ広まった。

つまりこの英語が標準英語として大英帝国時代に植民地の国々へと渡ったのであった。勿論移民となった人々には、教育のある、教養人々ばかりではないので方言を話す人々が多かったが、スタンダードイングリッシュのおかげで意志疎通ができてきたのである。

## (3) オーストラリア英語

英国の言語学者 D. クリスタル (1988) は、オーストラリア英語について次のように記している。オーストラリアは1770年にジェイムス・クックにより発見された。英国はシドニーに最初に刑事犯用の植民地を設立し、英国の過剰となった牢獄を改善しようとした。

1788年から50年間以上にわたり、13万人の囚人を送った。彼等は「自由な」住民と呼ばれ、最初からオーストラリアへ入植したが、19世紀の中旬まで実質的な数にならなかった。その後移民は増加し、1850年までには人口は約40

方に 1900 年には、ほぼ 400 万になった。

言語に多大な影響を及ぼしたのは、この住民、英国人であった。多くの即決の囚人達はロンドンやアイルランドから送られたので、オーストラリア英語には、その地方の特色、コックニー（ロンドン訛の英語）やアイルランド英語が、発音の型（オーストラリアの鼻にかかった声、－「トワング」）に現在でも残っている。

### ① 発音

ミッチェルとデルブリッジ (1965) 等は、1959 年と 60 年に調査\*5 を行ない、その結果オーストラリア英語は発音上 3 種類に大別されるとした。(1) 俗オーストラリア英語 (Broad Australian), (2) 一般オーストラリア英語 (General Australian), (3) 教養人オーストラリア英語 (Cultivated Australian) である。(1) は、極めてオーストラリア訛りの強い特徴的な発音で、鼻音化や二重母音化が加り不明瞭である。この発音は人口の 34% が使用していると推測されている。(2) は、一般人が使用していて、約 55% の話者がいると推測されている。(3) は教養のある人が正式な時に使用して、イギリス英語 (RP) と殆ど同一で、話者は 11% という統計がある。

オーストラリアで研修する際は、英語学習者が学のは ELICOS (英語学校) の専門家より英語を習うのであるから、教養人オーストラリア英語である。本稿では、英語語学研修の大枠の視点より、発音の違い、語彙の特徴については簡単に触れるに留める。

オーストラリア英語発音と RP の比較発音表\*6

	heat	boot	say	high	so	now	cheers	poor
RP	[i:]	[u:]	[eɪ]	[aɪ]	[əʊ]	[aʊ]	[iə]	[uə]
CA	[iɪ]	[uu]	[ɛɪ]	[aɪ]	[əʊ]	[aʊ]	[iə~i:]	[uə]

### ② 語彙\*7

- 1) 現地語 (アボリジニー) からの借入語: boomerang (ブーメラン), dingo (野犬), billabong (袋水路), kangaroo (カンガルー), gumtree (ユーカリの木)
- 2) イギリス英語からの転用語:  
footpath [pavement (英, 歩道) 英国では footpath は、野原や森の小径]  
frock [dress (英, ドレス)]  
get [fetch (英, もってくる)]

picture theatre [cinema (英, 映画館)]

station [stock farm (英, 牧畜農家), 豪州英語では鉄道の駅のほかに大牧場の意]

#### (4) 日本人の英語学習目的

現在英語を母語とする人口は約3.7億、母語ではないが第2言語として使用している人口が約10億から15億\*<sup>8</sup>ともいわれている。世界の人口約58億の約25パーセント強の人々が、少なくとも生活上、英語を使っていることになる。

アジアやアフリカの国々のように、また、多民族国家のため、家庭内では母語を使用しているとしても、社会生活を営むために第2言語としての英語を公用語として使用するのとは、全く日本の場合は異なる。これらの国々の中には、自国語で政治活動、教育において高度の知識習得や情報収集が不可能であるとか、ビジネス、メディア、法律などの面に手段として使用している所もある。

これに対して日本は、あくまで「外国語としての英語」(EFL: English as a foreign language)を使用しているのである。日本は翻訳技術、文化が発達しているので外国語を借りる必要がないのである。日本人にとって英語は外国人とのコミュニケーションをとる道具でしかないのである。大学一般英語では、言語の持つ多面性の中のコミュニケーションの部分を取り扱い、文化面をできるだけ区別すべきである。文化面、芸術面は文学や専門科目の英語、異文化理解、外国事情という講座で論じればよいのである。言語教育では、言語の持つ文化的側面を出来るだけ排除した英語を扱うことは可能である。現実にはアジアの国々：インド、シンガポールなどでは実生活で行なっているのであるから。

では日本はどの国の英語モデルを取り入れるべきかということになるが、国際的な中立イングリッシュがない現在、英国、米国、カナダ、オーストラリア等の国々に対応できる教育しかないと思う。報道の世界では、衛星放送で瞬時地球上を巡り、国境なく情報が飛び交っている。いずれ誤解が生じ不自由さを感じるであろう。既に存在する Essential English for International Maritime Use (Seaspeak) の海上用語や航空用語のように、同類の国際標準英語の誕生とその促進を望む。

## IV オーストラリア

### (1) オーストラリアの大学と英語語学教育の概略

\* 最終ページ資料①のオーストラリアの大学分布図参照

オーストラリアの大学では、日本と気候が逆のため、新学期は3月から始まり11月に終了する。オーストラリアの大学も改革が行なわれており College of Advanced Education の併合、大学化などの結果 1994 年現在、全国統一制度のもと的高等教育機関は、36 の数があり、クィーズランド州にあるボンド大学1校のみが私立大学でその他は全国統一制度以外の4校の高等機関以外、すべて公立大学である\*9。

英語研修は大きく3つに分けられ、大学付属英語学校、TAFE という州立の技術専門学校、そして私立の英語学校がある。どの学校もオーストラリア政府に留学生受入れ校として登録し、設備や教授陣の資格、授業内容、1クラスの学生数などは政府の指定する基準を満たしていることになっている。この数年オーストラリアで英語を学ぶ留学生数が急増し、主要都市を中心に政府の認可を受けた英語学校 (ELICOS-English Intensive Courses for Overseas Students) が100 余りもあると言う。

コースは初級から上級まであり、上級英語は大学進学を目的とした特別クラスもある。どの学校も読み、書き、聞き取り中心の会話を基本にカリキュラムを組んでいる。学生は到着後、編入試験を受け自己の能力に合ったクラスに入学し、定期的に進級試験を受けて随時進級することが出来る。コース修了時には、英語の能力を示した修了書が授与される。ELICOS 校のフルタイムのコースは、週に20時間から25時間の授業で構成され、就学ビザが、政府の登録校の学生には与えられる。

コースの種類には、4種類あり、一般英語、進学準備のための英語、特別な用途のための英語、ホリデー英語研修などがある。

○一般英語 (General English) では、英語力を向上させ就職に役立てるとか、観光旅行に役立てるといった授業内容で、会話や聞き取りを行なう。

○進学準備のための英語 (English for Academic Purposes) は、一般英語の延長上にあり、大学進学を希望する学生が、受講し、通常英語のレベルが上級に達している人を対象にし、Foundation Course 又は Bridging Course と呼ぶ。

○特別な用途のための英語 (English for Specific Purposes) は、特別な目的を持った、

ビジネス英語—ビジネス、経営、経理、マーケティングその他関連分野の英語

科学/技術用語—科学、数学、工学関係の為の英語

その他一秘書，医学，コンピューター関係に役立つ英語

○ホリデー英語研修は，通常の英語コースが休みにはいるオーストラリアの夏休み12月から1月の期間で，4週間の集中英語講座である。英語内容は，一般英語コースに準ずる。

コース期間は，4週間コースを除けば，平均的な1学期の期間は10週間である。以上がオーストラリアの英語研修の一般的な内容である。

次にオーストラリアの大学リストと英語教育機関を列挙する。

下記は青山学院大学教授笹森健氏がオーストラリア教育研究会で発表したものを引用する（注：発表と一部異なる）。

(2) 大学リスト ( ) 内は所在地 [ ] 内は大学ランク\*<sup>10</sup>

ニューサウスウェールズ州

- 1 The University of New England (Armidale), [5]
- 2 Southern Cross University (Lismore), [5]
- 3 Charles Sturt University (Wagga Wagga), [5]
- 4 University of Newcastle (Newcastle), [5]
- 5 The University of New South Wales (Sydney), [1]
- 6 The University of Sydney (Sydney), [2]
- 7 The University of Technology, Sydney (Sydney), [4]
- 8 The Macquarie University (Sydney), [4]
- 9 University of Western Sydney (Sydney), [6] Hawkesbury/Nepean
- 10 University of Wollongong (Wollongong), [2]

首都直轄区にある大学

- 11 The Australian National University (Canberra), [1]
- 12 University of Canberra (Canberra), [5]

ビクトリア州にある大学と英語教育機関

- 13 The University of Melbourne (Melbourne), [1]
- 14 Monash University (Melbourne), [2]
- 15 Swinburne University of Technology (Melbourne), [6]
- 16 La Trobe University (Melbourne), [3]
- 17 Victoria University of Technology (Melbourne), [6]
- 18 Royal Melbourne Institute of Technology (RMIT) (Melbourne), [3]
- 19 University of Ballarat (Ballarat), [6]



- 20 Deakin University (Geelong), [4]  
Hawthorn English Language Center, (メルボルン大学付属)

クイーンズランド州

- 21 Griffith University, [3]  
22 James Cook University of North Queensland, [5]  
23 Queensland University of Technology, [4]  
24 University of Central Queensland, [5]  
25 The University of Queensland, [1]  
26 University of Southern Queensland, [6]

西オーストラリア州

- 27 Curtin University of Technology, [5]  
28 Edith Cowan University, [6]  
29 Murdoch University, [5]  
30 The University of Western Australia, [1]

南オーストラリア州

- 31 The Flinders University of South Australia, [3]  
32 The University of Adelaide, [1]  
33 University of South Australia, [5]

タスマニア州

- 34 University of Tasmania, [3]

北部準州

- 35 The Northern Territory University, [6]

州にまたがる大学

- 36 The Australian Catholic University, [6]

全国統一制度以外的高等教育機関

- ① Avondale College (Cooranbong, New South Wales)  
② Marcus Oldham Farm Management College (Victoria)

### ③ Australian Maritime College (Tasmania)

本稿では、オーストラリアの東側、ニューサウスウェールズ州とビクトリア州に留める。この2州内の21の大学とその付属機関で、2, 17, 19, 20, ②, ③の6校以外はすべてELICOS, 英語学校を併設している。州内の全部の大学は取り上げられないので、筆者がこの夏訪問した8校の内、印象的であった数校を記す。

#### シドニー大学

この大学は、オーストラリアでも一番古い伝統的な大学で1850年に設立された。図書館などの設備も南半球で一番大きいと言われている。シドニーの中心地から3キロの所にある。英語学校はキャンパスの中に英国のマンションの様な建物内にあり、女学生好みである。英語プログラムも豊富で、海外からの留学生を多く受入れていて経験豊である。このELICOS(英語学校)のトップの女性と色々と話した結果、こちらに深く関心を示し、旅行会社などでなく教育機関と直接提携したいと言っていた。シドニーは大都市なので、治安の面から絶対に安全と断言できないのが残念であるが、どこかキャルフォルニア州のサンフランシスコに似た所がある。キャンパス内は中庭を囲んだ19世紀の建物(quadrangle)があり、英国のオックスフォード大学やケンブリッジ大学のスタイルでどことなく英国的な雰囲気を漂わせ、かつ現代的な設備を備えている。

\* 最終ページ資料②のコースと授業料表参照

#### キャンベラ大学

キャンベラとはアボリジニー(オーストラリアの原住民)の言葉で、“meeting place”, 集会場という意味だそうだ。人口的に計画された都市で、別名ガーデンシティと呼ばれるだけあり、こじんまりしていてとてもきれいな所である。首都なので、治安もよさそうであり、国際的ではあるが他の場所と較べると119ヘクタールの森林の中にあり静な所である。しかし、街の中心地から車で20分程度で、バスもあり、比較的便利なのではないかという印象を得た。キャンベラ大学の英語学校は、TESOLのコースと併設している。

\* 最終ページ資料③のコースと授業料表参照

#### メルボルンの大学

メルボルンは、オーストラリア連邦が誕生した1901年からキャンベラが首都

として建設される 1927 年まで、連邦政府の所在地であった。それだけに、長い英国史のなかでもひとときわ輝かしいビクトリア王朝時代の面影を色濃く残っていて、英国よりも英国らしい街と言われるほどである。街路樹が碁盤の目状に植えられ、トラムの名で親しまれた路面電車がゆっくりと走り抜けていく。そこかしこに美しい教会の尖塔が見え、19 世紀の重厚な建物が並んでビクトリア州の州都にふさわしい文化と伝統の街である。と同時にメルボルンは住民の国籍が 130 にも及ぶ世界有数の多民族文化都市でもある。

## RMIT

この美しい街の中央に Royal Melbourne Institute of Technology-The Center for English Language Learning (CELL) がある。この英語語学センターは応用社会科学とコミュニケーション学部の一部で、メインキャンパスから歩いて 3 分離れた所にある。

ホーソン英語センター (メルボルン大学付属)

オーストラリアの主要教員養成機関でホーソン教育協会の支部であり、メルボルン大学の付属機関になっている。キャンパスはメルボルン商業中心地から 8 キロ離れた環境の良い住宅地にある。

## La Trobe University Language Center

ラトロブ大学語学センターは、メルボルンの中心地から 14 キロ離れたブンドーラ・メインキャンパス内にある。しかし、この夏訪問した時は、道路を隔てた高校のキャンパスに移転していた。

以上 3 校訪問して、どの教育機関もプログラムは豊富で、経験も豊なので寮などの問題がなければどこでもメルボルンの大学は良いと思った。強いて言えば、メルボルン大学のホーソン英語センターであろうか。

\* 最終ページ資料④の主要 ELICOS 一覧表参照 (1993 年)

## V 語学研修についてのパイロット・アンケート調査

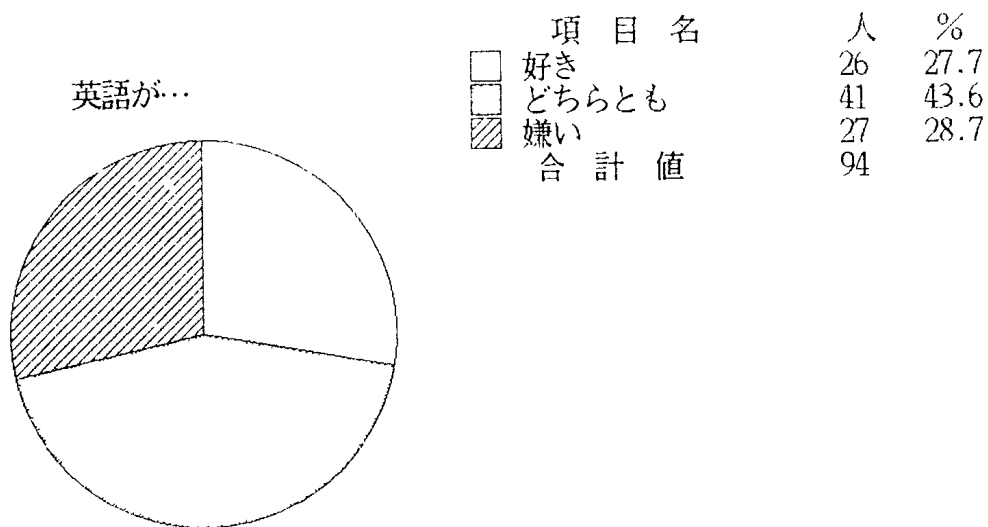
対象：東京工芸大学女子短期大学部の 1 学年 2 クラス 94 名 (科書実務コース)

調査期間：1994 年 10 月 14 日、18 日

調査方法：授業時にアンケート用紙配付

設問 1：過去に外国へ旅行、又は短期滞在したことが ①ある ②ない。  
1 年生は 20 名ありで、ない学生は、74 名。

設問 2：貴方は英語が好きですか。 ①好き ②どちらとも ③嫌い



設問 3：語学研修を希望する人で、その希望時期は。

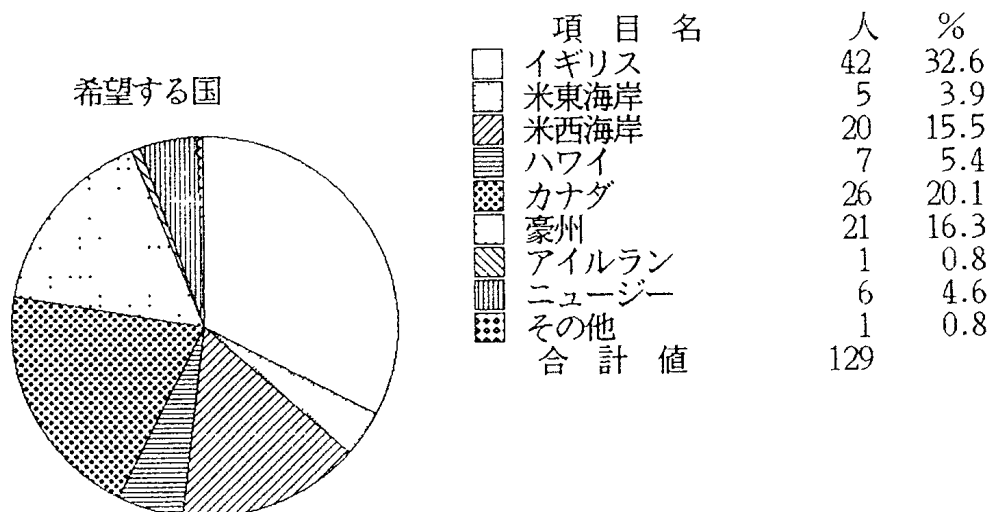
①夏休み：33名 ②冬休み：8名 ③春休み：20名 ④その他，無記入：9名

設問 4：語学研修の希望期間は。

1位は，4週間：22名，2位は，3週間：14名，3位は，5週間：10名で以下は省略する。

設問 5：どこの国で英語の研修を受けたいですか。複数回答可

①イギリス ②アメリカ東海岸 ③アメリカ西海岸 ④ハワイ ⑤カナダ  
⑥豪州 ⑦アイルランド ⑧ニュージーランド ⑨その他



設問 6：在学中に研修に……

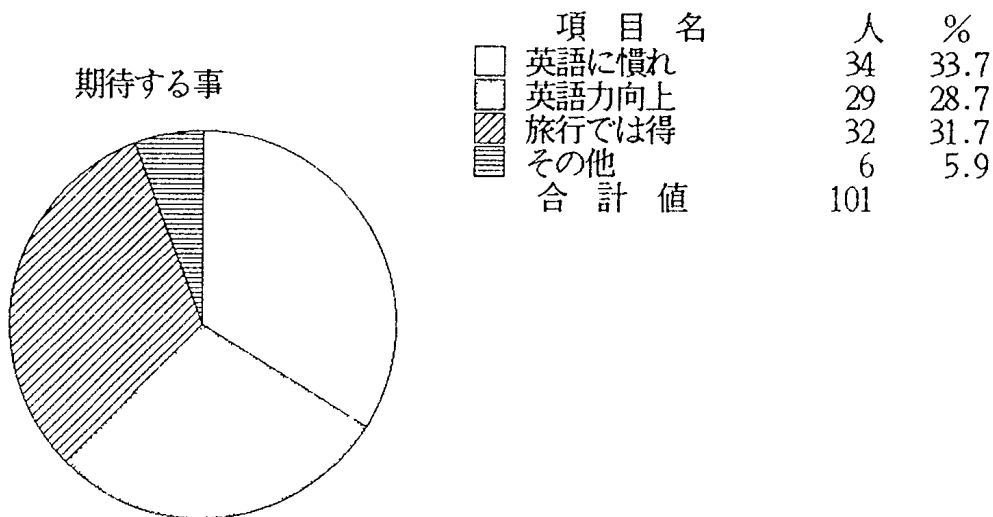
- ①行きたい：44名
- ②単位になるなら：18名
- ③行きたくない：24名
- ④その他：8名（お金があれば，興味はある，どちらとも）

設問 7：毎日の授業時間は何時間が良いですか。

- ①午前中 3 時間：64 名
- ②午前と午後で 5 時間：14 名
- ③その他：6 名
- ④無回答：10 名

設問 8：短期英語研修で期待する事は何ですか。複数回答可

- ①英語になれる
- ②英語力の向上
- ③観光旅行では得がたい体験
- ④その他（学生の回答記入：友人をつくる。）



設問 9：英語力向上を望む人に，研修で最も期待することは何ですか。

- ①発音，リズム，イントネーションなどの音声面の矯正：17名
- ②日常会話の習得：47名
- ③ビジネス英語の習得：4名
- ④討論，プレゼンテーションなどの技術習得：4名
- ⑤その他：無し
- ⑥無記入：22名（該当しない学生は無回答のため）

設問 10：観光旅行では得られない体験を期待する人に，お聞きします。

- ①他国の人達と一緒に勉強したい：8名
- ②外国の大学で勉強したい：4名
- ③他国の同年代の学生と友達になりたい：36名
- ④その他：（学生の自由筆記回答：外国人と日常生活の体験，異文化体験がしたい。）

該当しない学生は無記入。

設問 11：滞在施設は……

①寮：29名 ②ホームステイ：48名 ③アパート：6名 ④その他：無し

この調査はあくまでもパイロット調査の為、無記入などで、数の点でデータとして完全とは言えない点があるが、おおまかな傾向は解る。アンケートの結果をまとめてみると、英語語学研修の希望国順位は、圧倒的に英国、次にカナダ、オーストラリアそして米国西海岸であった。研修時期は、夏休み、期間は、4週間で授業時間は、午前中3時間。また、この研修旅行で期待している事は、当然ではあるが、英語に慣れ、英語力の向上、そして、キャンパスライフに於いては同世代の外国人の友人を得ることが圧倒的で、さらに、その他の体験や異文化体験をも期待している。

また英語学習面に於いては、圧倒的に日常会話の習得であった。この調査を2年生や英文学科の学生と比較してみると、音声の矯正や討論技術を望む学生の数か1年生の結果より高いという結果を得て、「まずは聞けて話せねば」といった段階である。今後本学の授業もこの学生の要求に応える努力が必要である。

滞在施設に於いて、ホームステイが一番人気がある。しかし、ホームステイも相互にうまく行けば良いが、大半の学生は初めて親元を離れ、外国の地へ行くので学生自身成長していない。独自の自立も出来るていない状態で、あまり環境の違う所に入り、気を使うよりは通常寮に入り、週末などにホームステイするほうが、トラブルのリスクが少ないと思う。国際教養コースのハイワセ校留学の例をみても、同じ事がいえると思うし、シドニー大学の担当者も同意見だった。

## VI オーストラリアを語学研修の場所を選ぶ理由

### (1) 物理的側面

オーストラリアは南半球にあるので、日本と気候が反対であるが、ニューサウスウェールズ州、ビクトリア州の冬はそれほど寒くない。ニューサウスウェールズ州のシドニーはまさに日本の秋といった感じである。

○ 海外で一番辛いのは誰でも経験する時差である。しかし、この東側のオーストラリアでは日本との時差は1時間早いだけでたいへん楽である。

○ 飛行距離は米国西海岸へ行く程度か、少々遠いくらいである。

シドニーまで約9時間25分の飛行時間、メルボルンはシドニーから約1時

問 25 分

- 研修にかかる経費は、英国、米国より安い感がある。
- 米国と比較した場合、豪州のほうが治安が良い。
- オーストラリアは将来現在以上に日本と関係が深まり、将来性のある国である。

## (2) 英語学習面

前で述べたように大学での英語プログラムは色々あるので現地での夏（日本では冬）のプログラムに入るのであれば、選択の幅はたくさんあるが、日本の夏（豪州の冬）であれば、交渉が必要だが、大学生活の平常時に他国の留学生と一緒に学習できる。ただ問題は、プレイスメントテストの結果クラス編成で日本人が多くなる可能性は高い。但、アンケートの結果それほど本学の学生は、他国の学生と一緒に勉強したいと希望していないようであるからうまく落ち着くかもしれない。

○ 豪州英語は発音面と一部の語彙以外は、英国英語と大差はない。発音も前述したルールや違いを先に導入しておけば、すぐに適応でき、それほど問題はない。

例えば、発音で有名なのが、I came here today. 発音上で I came here to die. に聞えると笑い話しがあるが、オーストラリアの発音システムに慣れ、話しの内容が理解出来れば、その様な事は、問題にならない。

米語よりはオーストラリア英語はブリティッシュイングリッシュに近い。

## (3) その他の教育的側面（異文化体験，理解）

語学研修は第1の目的は、語学力上達であるのは勿論であるが、外国の地で異文化体験をすることは計り知れない教育効果がある。語学習得は1カ月程度では多大な期待はむずかしいが、人生のなかで感性豊かな時期に異文化体験をする事は、人間の幅ができ、非常に成長する。アンケート調査からも学生が研修で、英語学習以外に期待している事の一番は、外国人の友人獲得である。特に大学の平常時であれば、アジアやヨーロッパから英語を学びに来る学生も休暇中よりはいるので、多国籍クラス、多民族クラスで授業が一緒に受けられる。他国の人と同じ土俵で勉強できることは、日本人学生にとって価値あり、インパクトのあることである。とかく温室育ち、同種育ちの日本人にとって、アジアからの根性ある学生と勉強を共にすることは大変刺激になるはずである。

自立のめざめとアイデンティティーの確立にも役立ち、将来の展望も開ける可能性が高い。卒業後、留学や四年生大学への編入学を目指して進学する

学生が他のコースより多いのは、ハイワセ帰国グループである。これは米国テネシー州で3ヵ月、現地の大学で普通の大学生活に浸ったからである。そのほか留学後のアンケート\*11で、「成長した、外国人が怖くなくなった、積極的になった」と自分達を評価している。また留学で得たものとして、「忍耐力、自立心、会話力、自信、思いやり、勇気」と記し、成長の度合いが伺われる。さらに自己発見の場にもなり、自分自身を「わがまま、英語力不足、意見をあまり発言しない」などと観察し、「時間の尊さを感じる」と留学体験を記している。

「百聞は、一見にしかず」でその国への理解度が深まり、寛容度の精神が育ち、国際人教育ができる。

## VII おわりに

英国からの移民の言葉も英国の標準英語も200年以上経過すれば、現在のようにその土地の発展と共に多様化して来る。日本はこの英語の変種に対応しつつも、国際共通語として英語教育をして行かなければならない。この多様性に対応するためにも本学の短期語学研修のメニューを2,3増やした方が良い。例えば、英国、カナダ、オーストラリアのように。研修グループの人数は最低15名から30名におさえる。また、4週間、毎日3時間、月曜から金曜まで学習するとなると、合計60時間となり、大学の90分間授業、30週の時間数45時間を上回る。時間数からいっても、研修コースの修了書を得れば、2単位、それにみあう英語科目、例えば英会話などとして認める。

また、特に筆者が強調したい点は、学生が大学の平常時に現地で勉強する機会を持つという事である。つまり、北半球と南半球の利点を利用することである。日本が夏期休暇の時に豪州は平常時で一般学生が勉強しているのである。その上時差が1時間しか変わらないということは、すぐ勉強活動に移行出来る。

勿論、英国やカナダ、米国は語学研修に良いが、日本の夏期休暇は相手国も夏期休暇で大学は空っぽである。極端な事を言えば、主人のいない家に他国からの客が一杯といった感じである。

この様に学生に、異文化体験の「場」を提供する事により文部省がうたっている「心豊かな人間の教育、自己教育力の育成、文化と伝統の尊重と国際理解の推進」が図られ、「国際人」の育成教育にも繋がり、教育効果が上がるはずである。



## 注

- \* 1 文部省『高等学校学習指導要領解説』外国語編・英語編 平成元年十二月
- \* 2 Crystal The English Language Today, P. 5
- \* 3 『英語の常識百科』 p. 83
- \* 4 Britanica Vo. 4, PP. 888 と Britanica Vo. 29 P. 83
- \* 5 The Pronunciation of English in Australia 1965
- \* 6 『英語の常識百科』 PP. 108 一部削除
- \* 7 同上
- \* 8 Crystal, The English Language Today, p 1~7
- \* 9 青山学院大学教授, 笹森 健, 日本比較教育学会発表, 1994 年
- \* 10 同上, ランクはビクトリア新聞『The Age』1994 年 3 月 15 日に掲載
- \* 11 1993 年 12 月実施, 国際教養コース 1 年 D クラス 56 名の結果

## 参考文献

- Wells, J. C. Accents of English 2 The British Isles, Cambridge Univ. Press, 1989  
Wells, J. C. Accents of English 3 Beyond the British Isles, 1990  
David Crystal, The English Language, Penguin Books, 1990  
本名信行編『アジアの英語』くろしお出版 1990  
Reischauer, E. O. The Meaning of Internationalization, Seibido, 1990  
Australian Universities, A guide to Australian Universities, Magabook Pty Ltd.  
The New Encyclopedia Britannica, Vo. 22 1993 pp. 662~666  
岩崎・忍足・小島 編『英語の常識百科』研究社, 1987  
その他：オーストラリア大使館からの資料

# A GUIDE TO AUSTRALIAN UNIVERSITIES

A DIRECTORY OF PROGRAMS OFFERED BY AUSTRALIAN UNIVERSITIES

The map shows Australia divided into states and territories, with major cities marked. Lists of universities and their programs are provided for each region:

- NORTHERN TERRITORY:** NORTHERN TERRITORY UNIVERSITY
- WESTERN AUSTRALIA:** CURTIN UNIVERSITY OF TECHNOLOGY, EDITH COWAN UNIVERSITY, MURDOCH UNIVERSITY, NOTRE DAME UNIVERSITY, UNIVERSITY OF WESTERN AUSTRALIA, GRADUATE SCHOOL OF MANAGEMENT
- SOUTH AUSTRALIA:** UNIVERSITY OF SOUTH AUSTRALIA, UNIVERSITY OF ADELAIDE, FLINDERS UNIVERSITY, BALLARAT UNIVERSITY, DEAKIN UNIVERSITY, UNIVERSITY OF TASMANIA, AUSTRALIAN MARITIME COLLEGE, UNIVERSITY OF TASMANIA
- QUEENSLAND:** JAMES COOK UNIVERSITY, JAMES COOK UNIVERSITY, ENGLISH LANGUAGE CENTRE, UNIVERSITY OF CENTRAL QUEENSLAND, GRIFFITH UNIVERSITY, UNIVERSITY OF QUEENSLAND, UNIVERSITY OF QUEENSLAND, TESOL, UNIVERSITY OF QUEENSLAND, GRADUATE SCHOOL OF MANAGEMENT, QUEENSLAND UNIVERSITY OF TECHNOLOGY, UNIVERSITY OF SOUTHERN QUEENSLAND, UNIVERSITY OF SOUTHERN QUEENSLAND, FACULTY OF BUSINESS
- NEW SOUTH WALES:** UNIVERSITY OF NEW ENGLAND, CHARLES STURT UNIVERSITY, UNIVERSITY OF NEWCASTLE, AUSTRALIAN INSTITUTE OF MUSIC, AUSTRALIAN GRADUATE SCHOOL OF MANAGEMENT, UNIVERSITY OF NEW SOUTH WALES, UNIVERSITY OF NEW SOUTH WALES, IPAC, UNIVERSITY OF NEW SOUTH WALES, INSTITUTE FOR LANGUAGES, UNIVERSITY OF SYDNEY, UNIVERSITY OF SYDNEY, ELICOS, UNIVERSITY OF SYDNEY, TESOL, UNIVERSITY OF SYDNEY, GRADUATE SCHOOL OF MANAGEMENT, UNIVERSITY OF TECHNOLOGY, SYDNEY, MACQUARIE UNIVERSITY, MACQUARIE UNIVERSITY, CENTRE FOR CHIROPRACTIC, AUSTRALIAN COLLEGE OF PHYSICAL EDUCATION, AUSTRALIAN CATHOLIC UNIVERSITY, UNIVERSITY OF WESTERN SYDNEY, UNIVERSITY OF WOLLONGONG, AUSTRALIAN NATIONAL UNIVERSITY, UNIVERSITY OF CANBERRA
- VICTORIA:** RMIT UNIVERSITY, SWINBURNE UNIVERSITY OF TECHNOLOGY, SWINBURNE UNIVERSITY ENGLISH LANGUAGE CENTRE, UNIVERSITY OF MELBOURNE, UNIVERSITY OF MELBOURNE, TRINITY COLLEGE, UNIVERSITY OF MELBOURNE, MELBOURNE SCHOOL OF BUSINESS, VICTORIA UNIVERSITY OF TECHNOLOGY, VICTORIAN COLLEGE OF THE ARTS
- TASMANIA:** UNIVERSITY OF TASMANIA

PUBLISHED BY MAGABOOK PTY LTD



## THE UNIVERSITY OF SYDNEY CENTRE FOR ENGLISH TEACHING

### COURSE DATES

2 February - 15 April 94	30 January - 7 April 95
26 April - 1 July 94	24 April - 30 June 95
18 July - 23 September 94	17 July - 22 September 95
10 October - 16 December 94	9 October - 15 December 95
3 January - 27 January 95 [Advanced Level only]	

### FEES

#### TUITION FEES

10 weeks	\$2500
4 weeks	\$1000

#### ENROLMENT FEE (non refundable)

\$ 100

#### HEALTH INSURANCE (student visa only)

\$62	3 months
\$125	6 months
\$177	9 months
\$229	12 months

#### AIRPORT PICKUP

\$60	(8 00 am - 8.00 pm Monday to Friday)
\$75	After hours and Saturday and Sunday

### ACCOMMODATION

If you require accommodation, please notify us 4 weeks before your date of arrival. We will tell you the address after we receive your flight details.

Homestay (4 weeks minimum)	\$710 (4 weeks)
Budget Hotel (temporary stay)	\$25 - \$65 per night + \$10 booking fee

### SCHEDULE

#### MORNING CLASSES

8 30 am - 2 30 pm

#### AFTERNOON CLASSES

12.30 pm - 6 30 pm

Students will be allocated to either morning classes or afternoon classes. We will inform you of the time of your class after you have completed the Placement Test on Day 1.

Please arrive at 9 00 am on Day 1.

資料③ キャンベラ大学 (1994年)

## Intensive English and TESOL Courses

The Centre for Teaching English to Speakers of Other Languages (TESOL) offers a variety of English courses at different levels

- ◇ Intensive English Courses
- ◇ English for Academic Purposes — for students intending to undertake further study in Australia
- ◇ English for International Relations — for students with upper intermediate level English and above
- ◇ English for Teachers — one semester program for teachers who wish to upgrade their English language and methodology skills
- ◇ TESOL award courses for people wishing to pursue a career in teaching English as a foreign language

Course Dates	Duration	Fees (\$A)
<b>Intensive English Courses</b>		
<b>Summer School</b>		
10 January - 4 February 1994	4 weeks	880
<b>Academic Orientation</b>		
10 January - 4 February 1994	4 weeks	880
<b>EUCOS Intensive English</b>		
<b>Dates for 10-week modules are</b> 14 Feb-22 April 1994 2 May-8 July 1994 25 July-30 September 1994 10 October-16 December 1994	10 weeks	2250
	20 weeks	4400
	30 weeks	6650
	40 weeks	8800
<b>English for Academic Purposes</b>		
14 February - 8 July 1994	20 weeks	4400
25 July - 16 December 1994	20 weeks	4400
<b>English for International Relations</b>		
25 July - 16 December 1994	20 weeks	4400
<b>English for Teachers</b>		
14 February - 8 July 1994	20 weeks	4400
25 July - 16 December 1994	20 weeks	4400
<b>TESOL Award Courses</b>		
<i>(See separate brochure for admission requirements)</i>		
Graduate Certificate in TESOL	14 Feb - 2 July	4575
Graduate Diploma in TESOL	One year	9150
Master of Arts in TESOL	Two years	9150 per year

資料④ (1993 年)

<b>Northern Territory University</b>	<b>Curtin University of Technology</b>	<b>University of South Australia</b>	<b>Hawthorn Institute of Education</b> Hawthorn English Language Centre	<b>La Trobe University</b> Language Centre
English Language Centre	Centre for International English	Centre for Applied Linguistics		
<b>Holiday English</b> <small>for groups of 10 or more</small>		<b>Holiday English</b>		
<b>General English</b>	<b>General English</b>	<b>General English</b>	<b>General English</b>	<b>General English</b>
	<b>English for Business</b>		<b>English for Business</b>	<b>English for Business</b>
	<b>Cambridge</b>	<b>Cambridge TOEFL</b>		<b>Cambridge</b>
<b>IELTS</b>	<b>IELTS</b>	<b>IELTS</b>	<b>IELTS</b>	<b>IELTS</b>
<b>English for Academic Purposes</b>	<b>English for Academic Purposes</b>	<b>English for Academic Purposes</b>	<b>English for Academic Purposes</b>	<b>English for Academic Purposes</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• English for Academic Purposes</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• English Language Bridging Course</li> <li>• Foundation Studies</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• English for Academic Study</li> <li>• International Bridging Program</li> <li>• Language and Study Skills</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• English for Computer Studies</li> <li>• English for Business Studies</li> <li>• Study Skills</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• English for Further Studies</li> <li>• English for Further Studies (Business)</li> </ul>
	<b>Special Interest Courses</b>	<b>Special Interest Courses</b>		
	English for <ul style="list-style-type: none"> <li>• Tourism</li> <li>• Science and Technology</li> <li>• Engineering</li> <li>• Computing</li> <li>• Hospitality</li> <li>• Medical Purposes</li> </ul>	English for <ul style="list-style-type: none"> <li>• Computing</li> <li>• Engineering</li> <li>• Health Professionals</li> <li>• Teachers</li> <li>• Individual Learning Programs</li> </ul>		
		<b>Teacher Training</b>		
<b>Special features</b>	<b>Special features</b>	<b>Special features</b>	<b>Special features</b>	<b>Special features</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Small centre</li> <li>• Friendly atmosphere</li> <li>• Access to all University facilities</li> <li>• Close to Kakadu National Park</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• University preparation</li> <li>• Conversation groups and social activities with Australian students</li> <li>• Excellent sporting and outdoor recreation activities</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Computer suite</li> <li>• External TESOL Programs</li> <li>• National unit for classroom research</li> <li>• Publications unit</li> <li>• Student prayer rooms</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• IELTS Test Centre for Victoria</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• RSA/Cambridge Certificate in Teaching English as a Foreign Language to Adults</li> <li>• Test Centre for Cambridge Exams</li> </ul>

<b>RMIT</b>	<b>Charles Sturt University</b>	<b>University of Canberra</b>	<b>University of Wollongong</b>	<b>University of Technology, Sydney</b>
Centre for English Language Learning	ELS Language Centre	Centre for Teaching English to Speakers of Other Languages	Wollongong English Language Centre	Insearch Language Centre
<b>Holiday English</b>	<b>Holiday English</b>		<b>Holiday English</b>	<b>Holiday English</b>
<b>General English</b>	<b>General English</b>	<b>General English</b>	<b>General English</b>	<b>General English</b>
<b>English for Business</b>	<b>English for Business</b>		<b>English for Business</b>	<b>English for Business</b>
<b>Cambridge TOEFL IELTS</b>	<b>IELTS</b>	<b>IELTS</b>	<b>Cambridge IELTS</b>	<b>Cambridge IELTS</b>
<b>English for Academic Purposes</b>	<b>English for Academic Purposes</b>	<b>English for Academic Purposes</b>	<b>English for Academic Purposes</b>	<b>English for Academic Purposes</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ English for Academic Purposes</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ English for Academic Purposes</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ English for Academic Purposes</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ Academic English</li> <li>◦ Pre-course English</li> <li>◦ English for Foundation Studies</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ Academic Studies</li> <li>◦ Foundation Studies Preparatory English</li> <li>◦ Secondary School Preparation</li> <li>◦ Graphic Design, Hotel Management and TAFE Preparatory Courses</li> </ul>
<b>Special Interest Courses</b>	<b>Special Interest Courses</b>	<b>Special Interest Courses</b>	<b>Special Interest Courses</b>	<b>Special Interest Courses</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ English and Business</li> <li>◦ English and Computing</li> <li>◦ Distance and Self-Directed Learning</li> <li>◦ Individual Learning Programs</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ Study Skills for University Success</li> <li>◦ ACE - Advanced Communication English</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ English for International Relations (for diplomats, business people and government officials)</li> <li>◦ English for Specific Purposes (in response to requests from organisations)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>English Plus Uni (audit courses) including English Plus</li> <li>◦ Australian Literature</li> <li>◦ Australian Studies</li> <li>◦ Computer Studies</li> <li>◦ Management</li> <li>◦ Marketing</li> <li>◦ Philosophy</li> <li>◦ Psychology</li> <li>◦ Science, Technology and Environmental Studies</li> <li>◦ Sociology</li> <li>◦ History and Politics</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>English for</li> <li>◦ Business</li> <li>◦ Computing</li> <li>◦ Hospitality and Tourism</li> <li>◦ Nursing Studies</li> <li>◦ Overseas Teachers</li> <li>◦ Science</li> </ul> <p>UCLES/RSA Certificate in TEFLA</p>
		<b>Teacher Training</b>		<b>Teacher Training</b>
	<b>Special features</b>	<b>Special features</b>		<b>Special features</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ Australia's first centre in the ELS International Network</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ Summer School</li> <li>◦ British and American accents as well as Australian</li> <li>◦ Specialisation in teacher training</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>Student support staff include</li> <li>◦ 2 activities officers</li> <li>◦ accommodation officer</li> <li>◦ 2 academic counsellors</li> <li>◦ librarian</li> <li>◦ student administrator/counsellor</li> </ul>

<b>University of Sydney</b> ELICOS Centre	<b>University of New South Wales</b> Institute of Languages	<b>University of Newcastle</b> English Language Centre	<b>University of New England</b> Language Training Centre	<b>Griffith University</b> Centre for Applied Linguistics and Languages	<b>University of Central Queensland</b> Language Centre
<b>Holiday English</b>	<b>Holiday English</b>	<b>Holiday English</b>	<b>Holiday English</b>	<b>Holiday English</b>	<b>Holiday English</b>
<b>General English</b>	<b>General English</b>	<b>General English</b>	<b>General English</b>	<b>General English</b>	<b>General English</b>
<b>English for International Business</b>	<b>English for Business</b>			<b>English for Business</b>	
<b>TOEFL</b> <b>IELTS</b>	<b>Cambridge TOEFL</b> <b>IELTS</b>	<b>IELTS</b>	<b>IELTS</b>	<b>IELTS</b>	<b>IELTS</b>
<b>English for Academic Purposes</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• English for Academic Purposes</li> <li>• Orientation Program for University</li> <li>• Preparation for TAFE and Business College</li> </ul>	<b>English for Academic Purposes</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Academic English</li> <li>• UNSW Foundation Studies Preparatory English</li> <li>• University Entrance Test Preparation</li> </ul>	<b>English for Academic Purposes</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• English for Academic Purposes</li> </ul>	<b>English for Academic Purposes</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Academic English</li> <li>• English for Further Studies</li> </ul>	<b>English for Academic Purposes</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• English for Academic Purposes</li> </ul>	<b>English for Academic Purposes</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• English for Academic Purposes</li> <li>• English for Tertiary Studies</li> </ul>
<b>Special Interest Courses</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• GMAT</li> <li>• English for Teachers</li> <li>• English for Management</li> <li>• English for Government Officers</li> </ul>	<b>Special Interest Courses</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Introduction to Language Teaching</li> <li>• Certificate in TESOL</li> <li>• English and Business</li> <li>• Computing for Business</li> <li>• Expressive Arts</li> <li>• Photography</li> <li>• The Arts in Australia</li> <li>• Hospitality and Tourism</li> <li>• Sports Science</li> </ul>		<b>Special Interest Courses</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• English for Sport and Leisure</li> </ul>	<b>Special Interest Courses</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• English for the Office</li> <li>• English for Special Purposes (special programs for institutions and companies)</li> </ul>	<b>Special Interest Courses</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• English for Administrative Staff</li> <li>• Intensive English for Professional Purposes</li> <li>• Teacher Refresher Courses</li> <li>• English and Diving</li> <li>• English and Golf</li> </ul>
<b>Teacher Training</b>	<b>Teacher Training</b>		<b>Special Interest Courses</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Electives in English for Visual Arts and/or Music</li> </ul>		<b>Teacher Training</b>



**Northern Territory  
University**

**English Language  
Centre**

**Course dates**

Length of courses may be 10, 20, 30, or 40 weeks

- February 8 - April 16
- April 26 - July 2
- July 26 - October 1
- October 11 - December 17

**Fees**

\$2000 per ten week session including application fees

**Curtin University of  
Technology**

**Centre for International  
English**

**Course dates**

- February 1 - April 8
- April 26 - July 2
- July 26 - October 1
- October 11 - December 17

**Fees**

**Enrolment fees**

\$100 non-refundable

**Tuition fees**

\$2100 for 10 week course  
\$4000 for 20 week course  
(one semester)

**Griffith University**

**Centre for Applied  
Linguistics and  
Languages**

**Course dates**

- January 4 - February 5
- February 15 - April 23
- May 10 - July 16
- July 26 - October 1
- October 11 - December 17

**Fees**

**Registration fees**

\$150 non-refundable

**Tuition fees**

Five weeks \$1,100  
Ten weeks \$2150

**University of South  
Australia**

**Centre for Applied  
Linguistics**

**Course dates**

- **General Intensive English:**  
February 2 - April 8 (10 weeks)  
April 27 - July 2  
July 19 - September 24  
October 11 - December 17
- **English for Academic Study**  
February 2 - April 8  
April 27 - July 2  
July 19 - September 24  
July 19 - December 17  
(20 weeks)
- **Language and Study Skills**  
October 11 - December 17
- **Language and Study Skills**  
January 11 - February 12 '93  
(5 weeks)
- **International Bridging  
Program (IBP)**  
March 1 - November 27  
(2 semesters)
- **International Bridging  
Program (IBP) Fast-track**  
August 9 - February 11 '94

**Fees**

**Tuition fees**

General Intensive English  
\$2150 for each 10 weeks,  
English for Academic Study  
\$2150 for each 10 weeks,  
Language and Study Skills  
\$1100, International Bridging  
Programs \$8000

**Other fees**

- Accommodation placement  
fee \$100
- There are no enrolment,  
application or registration  
fees at the centre for Applied  
Linguistics (CALUSA)

**Charles Sturt  
University**

**ELS Language Centre**

**Course dates**

- January 4
- February 1
- March 1
- March 29
- April 26
- May 24
- June 21
- July 19
- August 16
- September 13
- October 11
- November 8
- December 6

**Fees**

**Application fee**

\$60 non-refundable

**Tuition fees**

\$880 per 4 week session

**Other fees**

University facilities \$20 00  
Room and board \$440 00 plus  
\$50 00 refundable damage  
deposit

**Hawthorn Institute  
of Education**

**Hawthorn English  
Language Centre**

**Course dates**

- January 11 - February 12  
(5 weeks)
- February 22 - April 30
- May 10 - July 6
- July 26 - October 1
- October 11 - December 17

**Fees**

**Enrolment fee**

\$150

**Tuition fees**

5 weeks \$1150, 10 weeks  
\$2150, 20 weeks \$4200,  
30 weeks \$6200, 40 weeks  
\$8000

**La Trobe University**

**Language Centre**

**Course dates**

- January 4
- January 28
- March 8
- April 22
- May 31
- July 15
- August 23
- October 7
- November 15

**Fees**

**Enrolment fee**

\$150 non-refundable

**Tuition fees**

\$220 per week

**Other fees**

Airport pickup \$60  
Homestay placement \$150

**RMIT**

**Centre for English  
Language Learning**

**Course dates**

- January 4 - January 29  
(4 weeks)
- February 1 - April 8
- April 26 - July 2
- July 19 - September 24
- October 11 - December 17,  
1994
- November 22 - January 28,  
1994  
(8 weeks with 2 week  
Christmas break)

**English and Business**

- 20 week (500 hour) courses  
commencing February 1 -  
July 19
- 16 week (500 hour) course  
September 27 to February 4,  
1994

**Fees**

**Application fee**

\$100 non-refundable

**Course fees**

English and Business  
\$215 per week  
All other courses \$210 per week

**Course dates and fees**

(1993 年)



## University of Canberra

### Centre for Teaching English to Speakers of Other Languages

#### Course dates

- **Summer School**  
January 11 - February 5
- **Academic Orientation**  
January 11 - February 5
- **General Intensive English**  
February 15 - April 23  
May 3 - July 9  
July 26 - October 1  
October 11 - December 17
- **English for Academic Purposes**  
February 15 - July 9 or  
July 26 - December 17
- **English for International Relations**  
July 26 - December 17
- **English for Teachers**  
February 15 - July 9 or  
July 26 - December 17
- **Graduate Certificate in TESOL**  
February 15 - July 2
- **Graduate Diploma (TESOL) and Master of Arts (TESOL)**  
February 15 - November 26

#### Fees

##### Administrative charge

\$100 non-refundable

##### Tuition fees

4 weeks \$840  
10 weeks \$2,100  
20 weeks \$4,150  
30 weeks \$6,200  
40 weeks \$8,250

Diploma and Masters courses  
\$8950

Graduate Certificate \$4475

## University of Newcastle

### English Language Centre

#### Course dates

- **Basic English** 10 weeks  
February 14 - April 23  
April 26 - July 4  
November 22-February 11, 1994
- **Functional English** 10 weeks  
January 4 - March 12  
March 15 - May 21  
April 26- July 2  
July 5 - September 10  
September 13- November 19
- **English for Academic Purposes** 10 weeks  
May 24- July 30  
November 22-February 11, 1994

#### Fees

\$230 per week excluding  
Student Union general service  
charge

## University of New England

### Language Training Centre

#### Course dates

Total length of course may be  
5-12, 20, 30 or 40 weeks

#### English for Further Study

- **Advanced [EAP](5-6 weeks)**  
January 4 - February 12,  
May 1 - July 2
- **Elementary (40 weeks)**  
March 22- February 10 (1994).
- **Pre-Intermediate (30 weeks)**  
June 14 - February 10 (1994).
- **Intermediate (20 weeks)**  
February 8 - July 2, August 30  
- February 10 (1994)
- **Post-Intermediate [EAP] (12 weeks)**  
April 19 - July 9, November 1-  
February 10 (1994).

#### General English

February 8 - April 8, April  
19-July, 2 July 19 - September  
24, October 11 - December 17

#### Fees

##### Enrolment Fee

\$200 (includes airport pick-up  
and accommodation placement)

##### Tuition Fees

\$220 per week  
5 weeks \$1,100  
6 weeks \$1,320  
10 weeks \$2,200  
12 weeks \$2,640  
20 weeks \$4,400  
30 weeks \$6,600  
40 weeks \$8,800

## University of Central Queensland

### Language Centre

#### Course dates and fees

- **General English**  
February 15 - April 10 \$1,600  
April 26 - July 2 \$2,000  
July 19 - September 24 \$2,000  
October 11 - Dec 17 \$2,000
- **English for Academic Purposes**  
January 3 - February 11 1994  
\$1,200
- **English for Tertiary Studies**  
February 15 - June 11  
EFTS \$3,000  
EFTS + 1 subject \$3,400  
12 July 1993 - February 4 1994  
EFTS \$4,600  
EFTS + 1 subject \$5,000

## University of New South Wales

### Institute of Languages

#### Course dates

- Summer Term January 4 -  
January 22
- February 1 - April 9
- April 26 - July 2
- July 19 - September 24
- October 12 - December 17

#### Fees

##### Registration

\$140

##### Tuition fees

Ten week term \$2,350  
Summer Term \$780

## University of Sydney

### ELICOS Centre

#### Course dates

- January 4 (4 weeks)
- February 1 (10 weeks)
- April 26 (10 weeks)
- July 19 (10 weeks)
- October 11 (10 weeks)

#### Fees

##### Tuition fees

- \$2,300 per term (10 weeks)
- **Enrolment fee**  
• \$150

## University of Technology, Sydney

### Insearch Language Centre

#### Course dates

- January 4 - February 5
- February 8 - March 12
- March 15 - April 16
- April 19 - May 21
- May 24 - June 25
- June 28 - July 30
- August 2 - September 3
- September 6 - October 8
- October 11 - November 12
- November 15 - December 17

#### Fees

##### Enrolment

\$150

##### Tuition fees

5 weeks \$1,250  
10 weeks \$2,500  
20 weeks \$4,850  
30 weeks \$7,150  
40 weeks \$9,400  
50 weeks \$11,500

##### Other fees

Facility Fee \$15 each 5 week  
term

## University of Wollongong

### Wollongong English Language Centre

#### Course dates

##### General and Business

**English** January 25, February  
22, March 22, April 19, May 17,  
June 15, July 12, August 9,  
September 6, October 5,  
November 1, November 29

##### IELTS Preparation courses:

January 25, February 22, April  
19, June 15, July 12, October 5,  
November 1

##### English for Academic

**Purposes:** January 25,  
February 22, March 22, April 19,  
May 17, June 15, July 12,  
August 9, September 6, October  
5, November 1, November 29

**English plus Uni:** January 25,  
March 1, April 19, May 17, June  
14, July 19

#### Fees

##### Enrolment fee

\$120

##### Tuition fees

**General, Business and English for Academic Purposes courses:** 4 week  
course \$860, 8 weeks \$1,720, 12  
weeks \$2,580, 16 weeks \$3,440,  
20 weeks \$4,300, 24 weeks  
\$5,160, 28 weeks \$6,020, 32  
weeks \$6,880, 40 weeks \$8,600,  
44 weeks \$9,460, 48 weeks  
\$10,320

**English plus Uni courses:** 6  
weeks \$1,470, 10 weeks \$2,330  
14 weeks \$3,430, 18 weeks  
\$4,290, 22 weeks \$5,150, 26  
weeks \$6,010

##### Other fees

Enrolment fee \$120, University  
facilities fee \$30,  
Accommodation placement fee  
\$75, Airport pick-up \$90 00,  
Homestay \$145 per week, Halls  
of residence accommodation  
145 per week